

次期理事長兼学長に求められる資質・能力

公立大学法人福山市立大学は、理事長選考規程第3条において、理事長候補者の資格を「人格が高潔で、学識が優れ、かつ、法人を適切かつ効果的に管理運営することができる能力及び大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者」としている。

また、福山市立大学は、学則第1条において、その目的を「学術研究の中心として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究することにより、幅広い教養と深い専門的素養及び豊かな人間性を涵養し、もって持続可能な社会の発展を担うことのできる人材を育成するとともに、教育研究の成果を広く社会に還元することにより、地域の文化と社会の発展に寄与すること。」としている。

これらを踏まえ、本法人の次期理事長兼学長には、次のような資質・能力が求められる。

(求められる資質・能力)

- 法人の最高責任者として、そのビジョンを教職員、学生、市民等に明確に示し、中期目標を達成に導くことのできるリーダーシップと実行力を有すること。
- 大学の最高責任者として不断の大学改革に取り組むなかで、福山市立大学の学術を確立し、教育研究を推進することを可能とする学術への深い識見を有すること。
- 法人経営と教学運営の調和を図りながら、安定した財政基盤の確立や、質の高い教育研究環境を整備するために、法人設立者である福山市を始めとする多様なステークホルダーから幅広い理解と協力を得ることができる交渉力と調整力を有すること。
- 大学が地域のシンクタンクとしての役割を果たし、「市民の財産」に位置づくものとして評価されるよう、広く社会の声を聴く姿勢と大学の特色や教育研究の成果を広く内外に訴求させることのできる強い発信力を有すること。